

## 《各学部におけるキャリア教育の取り組みを紹介します》

会津支援学校ではキャリア発達課題として、キャリアプランニング能力の1つである「決める力・選ぶ力」を重視しています。以下のように、小学部から経験を積み重ねながら少しずつ向上させていきます。

今回はキャリアプランニング能力の一部の「決める力・選ぶ力」を取り上げます。

**高等部** 自分の得意不得意を知り、自己の特性に合った進路先を選択する。

**中学部** 自分の得意不得意を知り、やりたいことを決める。

**小学部** 自分の好きなことややりたいことを選ぶ。

(会津支援学校キャリア教育計画キャリア発達課題より)

「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達を促す」ために、小学部から高等部まで働く力を段階的に積み重ねます。

### <小学部6学年 中学部体験学習>

小学部では、キャリア発達課題「キャリアプランニング能力」を高めるように取り組んでいます。「働くこと」の理解を深める目的で、6学年では中学部の様々な授業を3学期に体験しています。今回は、その一部を紹介します。

作業学習では、マット編みや紙すき、牛乳パックのラミネートはがしなどを体験しました。中学部の教師から説明を受け、様々な作業があることを知りました。その中で自分が体験することを理解し、その作業に進んで取り組む姿が見られました。中学部の教師や生徒がいる中で、いつもとは違う緊張した表情で取り組んでいました。緊張感のある中で取り組んだ作業学習でしたが、「楽しかったです。」

「またやってみたいです。」という感想が児童から多く聞かれました。また、「中学部では紙すきをやってみたい。」と自分で作業内容を選び、やりたいことを教師に伝えることができた児童もいました。このように選ぶ経験は、日々の学習、生活場面でも大切に積み重ねています。



### <中学部>

中学3年生は高等部の入試に向けた学習を行っています。その中でも、自分についての質問に答える面接の練習は、自分の好き・嫌いや、得意・不得意を考える良い機会となっています。「得意な教科」「実習で失敗したことや褒められたこと」「これからがんばりたい教科」「将来の夢」などに関する様々な質問に、真剣に答えようとする姿が見られました。普段の自分を振り返りながら取り組み、入室のマナーや座るときの姿勢、あいさつの仕方などについても学んでいます。得意なことをさらに伸ばし、苦手なことにも挑戦しようとする態度の育成に力を入れていきます。



### <高学部>

高等部3年生は、4月から社会人として新たな一步を踏み出します。今回は、一般企業への就職内定を受けた生徒が、どのように進路を選択し決定したかをご紹介します。

この生徒は、道路等の整備補修を主として業務を行う企業に就職内定をいただきました。その企業を希望した理由については、「運動が得意で体力に自信があるため、身体を使った仕事をしたい。」と考えたためです。実際に実習を経験したことで、自分に合っていると強く感じ、入社を希望しました。その後、面接を経て内定を受けました。また、本人は4月からの目標として、「人とのコミュニケーションを大切にし、相手の気持ちを考えて発言できるようになりたい。」「焦らず、1つのことに集中して取り組めるようになりたい。」と掲げています。自分の課題を克服し、得意なことを生かしながら成長していってほしいと思います。

